

海宝が保育園に やって来た!

日本の園児たち2010年に海宝との再会を約束



柔らかな光が注ぐ2月のある日、2010年上海万博海外推進室日本事務所のスタッフは、園児たちにプレゼントを届けるため東京都大森のチャイルドケアセンター青い鳥を訪れました。そこで園児たちは小さな訪問者・海宝（上海万博マスコット）を大歓声で迎えてくれました。

先生から園児ひとりひとりに海宝のぬいぐるみが手渡され、みんな海宝を好奇心いっぱいに見つめます。みつめられた海宝は心なしか少し照れているよう……。園児たちからは海宝に関するたくさんの質問が出ました。「海宝は男の子なの？ それとも女の子？」「何歳？」「なんで青いの？」「血液型は？」。それから中国についての質問も。「上海と日本は遠いの？」「なぜ旗に星が5個ついているの？」。園児たちのかわいらしい疑問に、大人たちも思わず笑みがこぼれます。

その後、みんなでお絵かきタイム。園児たちが上海万博と海宝を描いてくれました。海宝は園児たちの絵の中で、かわいさが増したみたい。

ある園児は、「2010年にパパとママと一緒に上海万博に行って、海宝と遊びたい」と話してくれました。チャイルドケアセンター青い鳥の園長、橋本先生は、



チャイルドケアセンター青い鳥

平成13年に東京都認証保育所制度が発足した初年度に認証され、現在東京の新しい保育の草分けとして乳児クラス42名、幼児クラス43名の、合わせて85名の乳幼児を預かっている。多様化する保育ニーズに積極的に対応しており、また、昔から外国人が多く住む立地条件により、今も中国をはじめ、イギリス、アメリカ、イタリア、ドイツなど子供たちが通園しており、グローバルな視野を育んでいる。
所在地：東京都大田区山王2-1-6 キャビックビル4、5F



2010 SHANGHAI EXPO in JAPAN



「上海万博は世界の子どもたちの交流の場所になることでしよう。私たちは日中国の子どもたちが、万博でより友好を深め、上海万博が子どもたちに忘れられない素晴らしい思い出を残すことを期待します」と語ってくれました。

2010年上海万博は大人たちの博覧会であると同時に、世界の子どもたちの一大イベントです。

上海の子どもたちは、日本のお友だちが上海万博に遊びに来てくれることを大歓迎します！

